

「ラフ・コンセンサスとランニング・コード」

“Rough consensus and running code”

インターネットの標準化の精神と、インターネットの管理・運用を支える組織

「ラフ・コンセンサスとランニング・コード」とは、インターネットの標準化の理念を表した言葉です。この言葉は、緩やかな合意で大まかな仕様を決め、実際に動くプログラムを作り、相互接続実験や運用を行いながら、ボトムアップに「デファクト・スタンダード」を決めていくインターネットの標準化の精神を端的に示しています。そうして定められた標準規約は、RFC (Request For Comments) という文書にまとめられます。

またインターネットの管理・運用も、標準化と同様の精神に基づき、柔軟でオープンな体制が構築されています。NTTはインターネット・ソサエティ (ISOC) の創立メンバー (1992年) になるなど、インターネットの運用と発展に大きく貢献をしています。

